

「捨てない生き方」 五木寛之著

飽食の時代を経験した我々世代の身边は「もの」にあふれ過ぎて、余分なものは切って捨てるように見える。トレンド「断遮（捨？）離」にあるように見えます。

しかし、安易に「不要不急」なものは切り落としてしまえという考えに走れば、私達人間こそが不要不急な存在となり身も蓋もないことになってしまいます。

そこで、身体を横たえる場所もないくらいモノが溢れているゴミ屋敷もひとつの立派な精神生活の場と主張する五木寛之の著書に照らし合わせて参加者の生活実態を話し合いました。正直、とても面白いです。